

会 議 録

会 議 名	第24期小金井市公民館企画実行委員の会議 第18回		
事 務 局	小金井市公民館 緑分館		
開 催 日 時	平成30年1月9日(火) 午前10時～12時		
開 催 場 所	小金井市公民館 緑分館 研修室		
出 席 委 員	大島委員、大野委員、杉井委員、山本委員、横須賀委員		
欠 席 委 員	島田委員		
事 務 局 員	服部主査、岡本主任、山本(非常勤)		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	なし
会 議 次 第	<p>1 報告事項</p> <p>(1) 高齢者学級「みどり・朴の樹学級」について</p> <p>(2) 音楽鑑賞のつどいについて</p> <p>(3) 国際交流イベントについて</p> <p>2 協議事項</p> <p>(1) 緑センターまつり記念イベントについて</p> <p>3 その他</p> <p>(1) 公民館研究大会の出欠について</p> <p>(2) 三者合同研修会について</p> <p>(3) 日程の確認について</p>		

会議結果(要旨記録)

司会：杉井委員

1. 報告事項

(1) 高齢者学級「みどり・朴の樹学級」について

山本非常勤：12月20日に、高齢者学級「みどり・朴の樹学級」全15回を無事終了した。今年度は、閉級式の際、弁当を注文し学級生全員で食べたが、これがとても好評だったので、来年度も実施したいと考えている。今年度が終了したばかりだが、来年度の計画を始めなければならない。閉級式の際、学級生に、どういった講座を受講したいか、野外研修で行ってみたい場所はあるかなどのアンケートを行ったが、具体的なことが記入されてなかった。企画実行委員からは、すでにいくつか講座のご提案をいただいているが、他館とは違う企画、野外研修にお勧めの場所などがあれば、ご提案いただければありがたい。

大島委員：先日ご紹介した落語家は、南分館のセンターまつりにも出演したことがあるそうだ。その時の資料を持参したので、目を通していただきたい。

山本非常勤：落語は人気があって、アンケートにも今年度は落語がなくて残念だったとの意見もあったのでいい提案だと思う。

横須賀委員：今年度、最後の回にみんなで食事をしたことはとてもよかったと思う。私も驚いたのだが、同じ班なのに、班員の名前を知らない人がいた。一緒に食事をして話す機会があれば、名前も覚えるし、もっと親しくもなれるので、みんなで食事をする機会をもう一回くらい増やしてもいいと思う。

山本非常勤：アンケートにも、せつかく班を構成しているのだから、座学の時も班ごとに座るなどして班員同士仲良くなりたいたいという意見もある。しかし、座学の時は、前方の席でないと見えないとか聞こえないなどの声もあるため、それぞれ好きな場所に座っていただくのがいいと考えている。

大野委員：高齢者学級の曜日を变えないと参加できないという声もある。

山本非常勤：緑分館は、共働夢農園と陶芸入門教室があるので、高齢者学級を他の曜日に变えるのは難しい。

杉井委員：それは市全体で考えなければいけないことではないか。

大野委員：曜日が重なっている館があるので、曜日をばらした方が応募しやすいのではないか。

山本非常勤：各館それぞれ他の主催講座との兼ね合い、利用団体との兼ね合いがあって、それらを考慮して曜日を決めているので、曜日をばらすことは難しい。

大野委員：高齢者学級の参加者の平均年齢が上がってきているので、高齢者の中でも若い年齢層の参加者を増やす方法を考えた方がいいと思う。

山本委員：アンケートを見ると、今の曜日のままでいいという意見が多数なので、それは尊重した方がいいのではないか。

杉井委員：それは参加した方の意見であって、参加したくても参加できなかった方々の意見は反映されていないのではないか。

岡本主任：陶芸入門教室についても曜日の変更の要望が出ており、来年度は、曜日を変更する予定で陶芸連絡会と調整をしている。杉井委員がおっしゃる通り、参加できていない方々の声をどう取り入れるかというのは、高齢者学級に限らず市全体の課題でもある。ただ、高齢者学級については、他の講座、他の館との兼ね

合いもあって、かなり複合的に考えなければいけないので、曜日を変えるにしても、少し時間がかかるというのが実情だ。そのため来年度から曜日を変えるという今すぐの対応は難しい。

(2) 音楽鑑賞のつどいについて

山本非常勤：3月4日日曜日に予定されている音楽鑑賞のつどいの出演者が決定した。講師は、昨年と同じバリトン歌手の大島嘉仁さん。他には、大島さんが出演交渉してくださったソプラノ歌手の盛田麻央さんとテノール歌手の高柳圭さん。当初は、講座の開始時刻を13時で予定していたが、高柳さんが午後から別の舞台出演の予定があるとのことで、午前10時開始に変更した。高柳さんは、次のスケジュールまであまり時間がないとのことなので、岡本主任に駅までの車で送迎してもらおう。音楽鑑賞のつどいは、多くの参加者が予想され、会場設営、受付等のお手伝いをお願いしたいので、当日は、企画実行委員のみなさんには9時頃来館願いたい。

(3) 国際交流イベントについて

岡本主任：以前の会議では、ガーナ共和国からモルドバ共和国に変更して講座を実施すると報告していたが、その日程と内容が決定した。2月17日は国の紹介。モルドバは、ワイン発祥の地とも言われているので、ワインの試飲を行う予定。2月24日は調理。3品のモルドバ料理を作る予定。講師が、モルドバの食材を輸入販売している会社の社長で、できれば、モルドバワインの紹介をしたいと要望されているので、予算に余裕があれば、この日もワインの試飲を行う予定。3月3日は、モルドバの祭り体験。モルドバでは、3月に身近な人に感謝の意を込めて贈り物をするという祭りがあるそうだ。その祭りでは、赤や白の糸で人形や飾りを作ってプレゼントするそうで、その人形や飾りを参加者にも一緒に作っていただく。3月10日は文化、観光案内。前日に、モルドバのパンを焼いて、そのパンにモルドバのはちみつやジャムを塗って試食していただく。この日も予算が余れば、ワインの試飲を行う予定。講座の募集記事は、1月15日の市報と2月号の月刊こうみんかんに掲載される。申込受付は1月25日より開始で、定員は30名。周知を幅広くしていきたいので、様々な場所にチラシを置かせていただく予定。

2 協議事項

(1) 緑センターまつり 記念イベントについて

山本非常勤：6月1、2、3日に緑センターまつりを開催する予定だが、そろそろ記念イベントの出演者を決定したいと思う。去年は、法政大学の落語研究会に依頼し、法政大学と東京経済大学と合同で寄席や大喜利をやっていた。観客も多く、評判もよかったので、落語は人気なのだと感じた。記念イベントについて、何か提案があればお願いしたい。

大島委員：先ほど紹介した落語家をお願いしてもいいのではないかな。

杉井委員：東センターでも落語の講座をやっていた。

横須賀委員：地元の若い人たちを連れて来るという意味では、緑小学校や緑中学校のブラスバンドやコーラス部をお願いするのもいいのではないかな。そうすると、必ず、父兄や知り合いが聞きにくると思うので、公民館に足を運んでもらう良いきっ

かけになると思う。センターまつりに若い人も来てくれるのではないか。
岡本主任：緑中に連絡をとって交渉してみる。

3 その他

(1) 公民館研究大会について

服部主査：2月3日に公民館研究大会が行われるが、今のところ、決定の通知が来ていないので、1月28日の市民講座の時に参加していただける委員にはその時にお渡しする。よろしくお願ひしたい。

(2) 三者合同研修会について

岡本主任：三者合同研修会の目的としては、公運審、企画実行委員、職員の三者が一堂に会し、講座によって知識を養ったり、相互の親睦や交流がある。今回のテーマとして、国際化社会を取り上げ、公民館としてどういったことをやっていけるのかということを考えていきたい。日程は、2月20日火曜日、午前10時から正午まで。場所は緑分館。講師は、東京外語大の長谷部美佳さん。研修会の流れとしては、例年と同様のものを考えており、講師による国際化社会についての講義を聞いたあと、グループ討議をし、討議の結果を発表した後に、講師にそれについて統括していただく。出席の確認をしたい。

杉井委員：私は出席できない。

岡本主任：では、杉井委員以外は出席ということでよろしいか。

全 員：はい

(3) 日程の確認

服部主査：日程は表の通りなので、ご確認願ひたい。

次回の会議 平成30年2月6日(火) 午前10時

公民館緑分館 生活室 司会：横須賀委員